



「春の全国交通安全運動」のスタート式＝城陽市役所

「京の春 笑顔とマナーで事故防止」をキャッチフレーズに、春の全国交通安全運動が始まった六日、府南部の各警察署は地元交通安全対策協議会や自治体などと合同で街頭啓発を展開し、住民やドライバーたちに事故防止を呼びかけた。

交通安全願い届け!!

○：城陽署は城陽市交通安全対策協議会と共催で「春の全国交通安全運動」のスタート式を市役所南玄関前で開き、関係者約六十人が出席。

スタート式は運動期間中の無事故を祈念するもので、午前十時からスタート。橋本昭男市長や加藤武署長のあいさつに続き、地元住民代表と幼稚園児たちが交通安全宣言を行い、警察車両の出発セレモニーもあった。

同署と同協議会では九日午前十一時から、シヨ

府南部でも街頭啓発



啓発用ティッシュなどを配る参加者ら＝宇治田原町

京の春 笑顔とマナーで事故防止

ツピングセンター「アル・プラザ城陽店」前で、街頭啓発活動も行う。

○：八幡署は八幡交通安全協会、八幡地域交通安全推進委員協議会などと合同で、八幡市八幡高

坊の京阪八幡市駅前で行った。日街頭啓発活動。早朝の午前七時半から約一時間

にわたり、運動の重点である子供と高齢者の事故防止▽自転車等の安全利用地区交通安全パレードなどを予定している。

○：由田署は宇治田原町交通安全協議会（会長 奥田光治町長）と合同

で午前七時半から、国道307号の銘城台前交差点など町内四力所で街頭

啓発キャンペーンを実施、同署や町の関係者約四十人が参加した。

各啓発場所ではプラカードを掲出しながら、啓発用ティッシュを配布。通勤車両のドライバーや通学中の児童、生徒たち

に交通安全を訴えた。また、午前十時半からは広報車両やパトカーで町内を巡回する交通安全

パレードも行った。